



Sagor för barn på svenska

berattelser.se

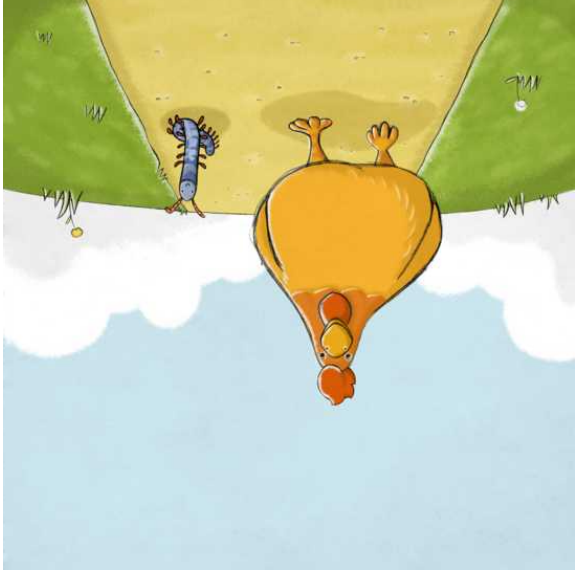
鶏とカマキリ

Skriven av: Winny Asara
Illustrerad av: Magriet Brink
Översatt av: Rion Nakamichi!

Denna saga kommer från African Storybook (africanstorybook.org) och vidarebefordras av Sagor för barn på svenska (<https://berattelser.se/>), som erbjuder sagor på många språk som talas i Sverige.

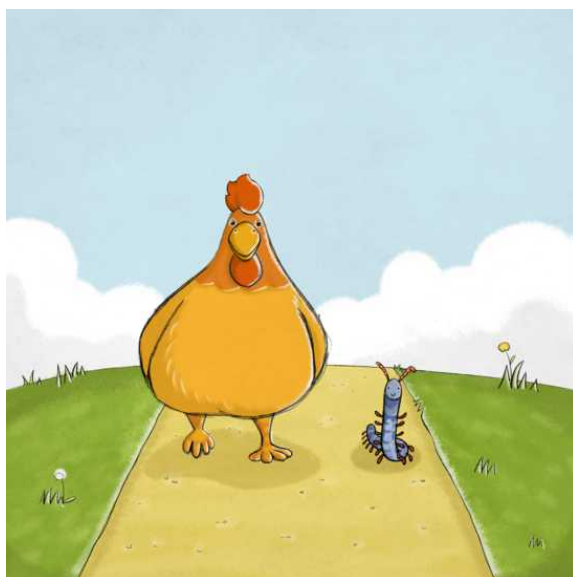
Detta verk är licensierat under en Creative Commons Erkännande 3.0 Internasjonal Lisens.
<https://creativecommons.org/licenses/by/3.0/deed.sv>

鶏とカマキリ



✎ Winny Asara
👤 Magriet Brink
📄 Rion Nakamichi!
🗨️ Japanska
📊 nivå 3





鶏とヤスデは友達だった。しかし、彼らはいつもお互い競い合っていた。ある日、彼らはどちらが上手いか見るためにサッカーをすることに決めた。

彼らはサッカー場へ行き、試合を始めた。鶏の足は速かったが、ヤスデはもっと速かった。鶏は遠くに蹴ったが、ヤスデはより遠くに蹴った。鶏は不機嫌になり始めた。





彼らはペナルティーキックをすることに決めた。初めにヤスデがゴールキーパーをした。鶏はわずか1点を決めた。次は鶏がゴールを守る番に代わった。



その時から鶏とヤスデは敵どうしなのである。

鶏はヤス子がお腹から外に出るまで咳をし
た。ヤス子とヤス子のお母さんは隠れるため
に木の上まで這った。



ヤス子はボールを蹴って点を決め、フリザル
をして点を決め、そして、ハテナツグで点を
決めた。ヤス子は5点も決めた。





鶏は負けて怒り狂った。彼女はとても悪い敗北者である。友達が大騒ぎしたので、ヤスデは笑い始めた。



鶏はゲップした。そのとき彼女は飲み込んだ。その後彼女は咳をした。さらに、咳をした。そして、ヤスデが嫌いになった。

ヤス子のお母さんは「特別な力を使いなさい」と叫んだ。ヤス子は「さい臭いとひとい味を出すことができる。鶏は気持ち悪くなった。」



鶏はとても怒って、口を大きく開き、ヤス子
を飲み込んだ。





鶏が家に向かって歩いているとき、ヤスデのお母さんに会った。ヤスデのお母さんは「私の息子を見なかったかい？」と尋ねた。鶏は何も言わなかった。ヤスデのお母さんは心配した。



そのとき、ヤスデのお母さんは「お母さん助けて！」という小さな泣いている声を聞いた。お母さんは周りを見渡し、注意深く聞いた。その声は鶏の身体の中からしていた。